



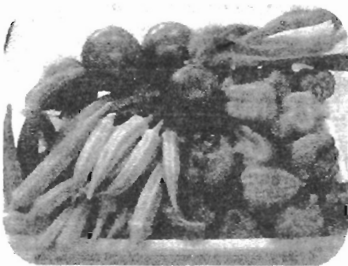
東京都板橋区立板橋第五小学校

いたばし
 ビオトープ
 ネットワーク
 学校訪問シリーズ

子どもたちが環境の守り手に育っている。

板五小の5つの取組み

板橋第五小学校で色々な環境学習を行っている。2月のある日早速取材に伺った。そこには放課後にも関わらず5年生が13人も駆け付けてくれて自分たちの豊かな体験と思いを堂々と語ってくれた。



その2 屋上緑化収穫

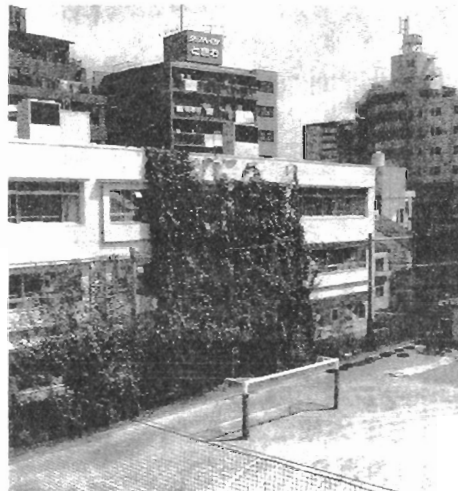
屋上畑の収穫(平成20年)

スイカ 14コ
 キュウリ 353本
 ゴーヤ 29本
 トマト 65コ
 ビーマン 396コ
 オクラ 1,120本
 ヘチマ 36本

その1

5年 大井駿之介さん

「屋上緑化や緑のカーテンは温暖化対策に役立つとともに収穫する喜びがあります。葉に秘密がありCO₂を吸収し酸素を出すという大きな働きに驚いた。」



その1 緑のカーテン(平成21年)

その1

5年 関侑矢さん

「植物はもらった水を使って回りを涼しくするということ」

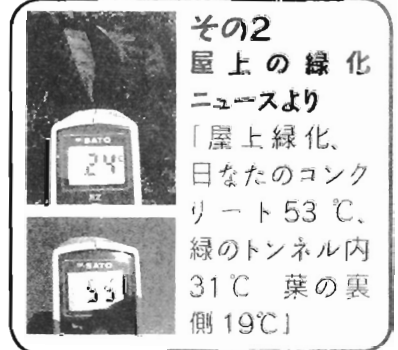


その2 屋上の見事な畑

その1

5年 松折海司さん

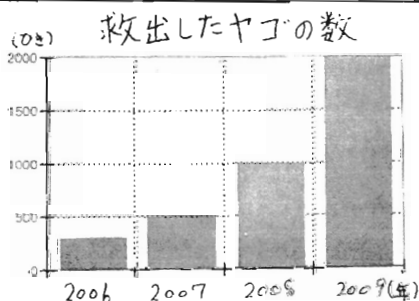
「緑のカーテンのあるところとない所の壁面温度を放射温度計で調べてまとめた。カーテンの陰 29℃日向 40℃」



その2

屋上の緑化
ニュースより

「屋上緑化、日なたのコンクリート 53℃、緑のトンネル内 31℃ 葉の裏側 19℃」



その3

5年 斎藤彩香さん

「ヤゴ2,000匹も救って命を救えてよかったし、環境にもつながるのでいい活動が出来た。」

収穫スイカ



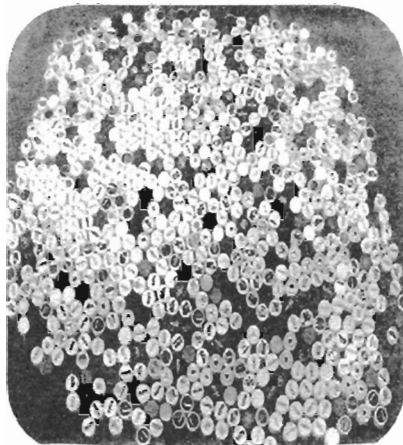
その3 ヤゴの増大グラフ

その3 田んぼと同じ環境をつくり ヤゴの羽化に成功

その3

5年 久芳萌乃さん

「稲を植えてヤゴを育てると、エサになる微生物が増えたり水温上昇を防ぐことが出来る。ヤゴと屋上緑化・緑のカーテンなど、いきものと環境は全てつながり関わり合っていること。板五小ではヤゴが年々増え続けていること」「中学高校でも緑のカーテン屋上緑化を広げてやっていきたい。」



その3

5年 中村明日香さん

「ヤゴが毎年だんだん増えていることに気づいた。羽化に失敗するヤゴもいたが自然へ帰すことが出来た。ヤンマ系のヤゴは少なく、ヤンマ系は稲のようところに卵を産むことを発見、ヤンマスポットを屋上に作った。ここで、羽化も行いたい。」

その4

5年 鈴木胡桃さん

「身近なキャップただのキャップが800コで1つの命が救えると知りました。」「大きなチームを作ってキャップ集めだけでなく、人を救う内容のことをやって人の命をたくさん助けたい。」

その4 集めたキャップ

その4

5年 本橋瑠海さん

「身近なキャップでワクチンになって人の命を助けられたり地球にもやさしい。はしか・BCG・おたふく・三日ばしかなどキャップはすごい働きをしている。地球温暖化も食い止めたい。」

その4

5年 角星空さん

「私は、これから世界中が病気にならないようにもっと、キャップ集めをしたい。みんながやればもっと人の命が救えるから、もっと、キャップを集めたいです。(みんなと協力して…よびかける)」

その5

5年 藤原功基さん

「電気を1時間消すことで⇒バスケットボール25コ分のCO₂を削減できること、トイレの便器のふたを閉めると⇒一日5コ分の削減になる。」



休み時間・掃除中・給食中・授業中の窓際消灯でCO₂削減



「とっても小さなことでも協力してやれば二酸化炭素を減らすことができました」

上記の言葉は活動をしてきた5年生が実感した「ことば」です。板五小の取り組みの特徴は緑のカーテン・屋上緑化、畑づくり、4年連続のヤゴの救出活動、キャップ集めで命を救おう、消灯・トイレのふたしめによる省エネ行動など、やれる行動を自ら発見し、総合的に実行していった結果、子どもたちの環境行動意欲と意思が非常に高くかつ強くなったことです。多くの人々へ呼びかけている強いメッセージには、驚かされました。(取材者 寺田)

その5

5年 中原華優さん

「給食を残さず食べること・電気を家でこまめに消す・自分の家でキャップを集めたい・家で緑を増やしたい。あまり車に乗らないで、自転車に乗る。」

その5

5年 加藤葵さん

「とっても小さなことでも協力してやれば二酸化炭素を減らすことができました。自分たちから地球によいことをするととても、気持ちがいいです。」

「エコカーや、ソーラー発電をしたり大きな事にも活動し、また後輩にも教える。6年生から牛乳の(ビニール)キャップ集めを引き継ぐ。家やどこでも食べもの、物、等色々な物を大切にしていきたいです。」

☆土があると、30℃以上の温度差を下げるこ

壁緑化の下の教室(8月・5日) 34℃ 教室内の温
屋上を緑化していない下の教室 38℃



その5

5年 上村礼王さん

「給食を残さないそれだけでCO₂を出さないですむのがすごいと思いました。だから、これから給食以外も残さず食べたいです。」
「中学・高校へ行っても、CO₂を消せるので、緑のカーテンをやりたいです。」

その5

5年 藤原功基さん

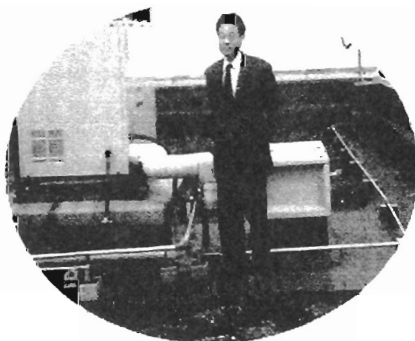
「様々な人たちにこれから出来る小さなエコを伝え実行していきたい。身近なエコ活動だけでなく大きな行事など大きなエコ活動等をしていきたい。」



子どもたちの変容

担任馬渡操先生・福岡勇人先生

「地球温暖化を自分たちの身近な問題としてとらえ『二酸化炭素の排出を少しでも抑えるために、自分たちに出来ることを取り組もう。』という意識が育ってきました。子どもたちは、「プールで救出したヤゴの数」と「屋上緑化・緑のカーテン」とが互いに深くかかわり合っていることに気づき、板五小の環境活動全てがつながっていることを知りました。子どもたちと共に感動しています。」



屋上畑の前で中里校長先生

中里文丈校長先生

「一番大切にしている思いは”自他の尊重”です。手を打てば、全てつながっていく。環境教育も同じです。豊かな感受性の育成を目指しています。」

今年もセンスオブアースは参加します。

アースデイ東京 2010 4月17日(土)・18日(日)・代々木公園ほか

昨年は、来場者数 12 万人 5 千人を超え、参加グループも 376 となり、名実共に日本最大の市民フェスティバルとなった、地球環境について考える日、アースデイ。昨年に続き今年も SOE は参加します。代々木公園の会場で、お待ちしております。

◎ S.O.E. 活動報告 (2010 年 2 月)

日	曜	内 容
1	月	赤塚第一中 環境授業の計画と準備
2	火	環境なんでも見本市の展示内容 準備 (～4日まで)
5	金	環境なんでも見本市 展示物搬入
6	土	環境なんでも見本市 展示 買い物ゲーム ワークショップ (7日まで)
7	日	展示 搬出
9	火	2月号原稿 (～11日まで)
13	土	第5回全国学校ビオトープコンクール 津田ホール
14	日	2月ワークショップ ニュース発行作業日
15	月	志村第四小 とうふづくり授業打合せ
16	火	赤塚第一中学校 食べ物はどこから 1年 出前授業 午前9:35～
18	木	板橋第五小を取材・(中里文丈校長先生を取材)
19	金	板橋第五小 5年生有志・担任馬渡操先生・福岡勇人先生取材
26	金	志村第四小 3年 とうふづくり授業 午前3・4校時 午後5・6校時
28	日	3月号原稿執筆・校正届

◎ S.O.E. 活動予定 (2010 年 3 月)

1	月	3月号原稿打合せ。4月号取材先連絡
4	木	原稿校正
5	金	原稿送付
6	土	3月自然観察会の企画・来年度大学関係インターンシップなど下打合せ
8	日	事務局連絡
10	水	3月号ニュース原稿仕上げ
13	土	緑のカーテンコンクール表彰式
14	日	SOEワークショップ・ニュース発行作業 2～4 2009年度エコポリスセンターと環境団体との情報交換会
21	日	蓮二小ビオトープ見学(観察)会等予定 浮間公園・赤羽根ゴルフ場野鳥観察会 10～3 北区水辺の会主催
25	木	公立小学校卒業式
26	金	板橋区環境教育プログラム部会 2～4 グリーンホール101

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6053
e-mail: info@npo-soe.jp url: www.npo-soe.jp